

# 平成18年度事業計画

## 基本方針

日本経済は、少子・高齢化やグローバリゼーションの進展と国際競争の激化、エネルギー問題はじめとする環境制約の高まりなど大きな環境変化に直面しています。

一方、地域経済は、企業の中核機能や金融機能の東京一極集中が加速し、人口の減少や高齢化が進む中で、生産や雇用、工場立地の低迷など厳しい状況にあります。このような中で、地域経済の持続的な発展を実現するためには、地域の潜在力を掘り起こし、地域の特性や蓄積を生かしていくとともに、国内市場のみならず国際市場をも視野に入れて、自立的な展開を図れるような強靱な産業群を育成することが急務となっています。

また、個々の企業には、技術やビジネスモデルの絶えざる革新を通じて、新製品や新サービスを生み出していくとともに、その価値を評価し受け入れる市場を確保し、開拓していくことが求められています。

こうした状況を踏まえ、テクノポリス推進機構では、ふくしま産業創出基本構想で設定される高度技術産学連携地域（郡山地域）が掲げる重点分野を中心に、大学や公設試験研究機関等と連携し、圏域企業の新製品開発、新事業創出を支援してまいります。また、今夏開所予定の「(仮称) ふくしまものづくりインキュベーションセンター」において、入居する企業や創業予定者に対し、日本大学工学部等との連携により、新製品の研究開発に必要な支援を総合的に推進いたします。

## 重点事項

- 1 高度技術産学連携地域（郡山地域）が掲げる重点分野「医療・福祉関連分野」、「新製造技術関連分野」「IT関連分野」「食品関連分野」「環境関連分野」を中心に、大学や公設試験研究機関との連携により、新製品開発、新事業創出を図ります。
- 2 「(仮称) ふくしまものづくりインキュベーションセンター」において、入居する企業及び創業予定者に対し、事業活動の場を提供する等ハード面の支援に加え、インキュベーションマネージャーによる経営面のアドバイスや研究開発におけるサポートを行います。また、インキュベーションセンターに併設する試作センターにおいて、技術指導等新製品開発・試作に対する技術面の支援も併せて実施します。
- 3 圏域製造業の技術力向上による高付加価値化を図るため、日本大学工学部等との連携による高度製造技術人材育成事業を、試作センター等を活用して実施します。
- 4 戦略的アライアンス形成会議を核として、日本大学工学部、福島大学、奥羽大学及び福島県ハイテクプラザ等と連携した研究会において、新製品開発、新事業創出を図るとともに、企業相互の強みを活かした事業連携による「共同受託製造サービス」の事業プ

プロジェクト創出を図ります。

- 5 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会と連携し、圏域内企業のITの高度利用促進による活性化を図ります。

## 【新事業創出育成事業】

研究開発型企業の資金円滑化をはかるために債務保証事業を行うと共に、研究開発・起業化への意識啓蒙、関係機関との連携を図るための各種事業を実施する。

また、債務保証事業を推進するため、支援企業の掘り起こし、育成を行う。このため、インキュベーションセンター（起業家育成施設）の設置・運営を通じて、創業間もない企業及び新製品開発等の新事業に取り込む企業を育成する事業を併せて行う。

### 1. 債務保証事業

#### (1) 債務保証事業

圏域内の企業が高度技術や製品開発などのために必要な資金を借り入れる際に、その債務を保証する。

#### (2) 講演会の開催

研究開発や起業化意識の高揚を図るために講演会を開催するとともに債務保証制度及び各種助成制度の周知を図る。

#### (3) 資金関係相談事業

補助金や融資、ファンドとのマッチングなど研究開発や起業化に当たって必要となる資金調達等に関する相談、指導を行う。

#### (4) 関係機関連絡会議

関係機関との連携を図るため、会議を開催及び各種会議に出席し、情報交換を行う。

#### (5) 審査委員会の開催

### 2. 新事業創出支援施設設置事業

#### (1) ふくしまものづくりインキュベーションセンター整備事業

日本大学が有する研究施設等の機能と有機的に連携し、ものづくり系の新事業創出を支援するために、試作センターを併設したインキュベーションセンターを日本大学工学部敷地内に建設する。

### 3. 新事業創出支援施設管理運営事業

#### (1) ふくしまものづくりインキュベーションセンター管理運営事業

インキュベーションセンターへの入居者等に対し、新製品開発による新事業創出のために必要な各種の支援措置を総合的に行う。

## 【技術振興事業】

世界的な競争力を持つ産業を育成するため、新事業創出に向けた研修・交流・研究開発活動支援事業を実施すると共に企業の連携による高度なものづくりの促進に寄与する事業を実施する。

### 1. 研修指導事業

#### (1) 高度技術者研修事業

##### ① 高度 IT 人材育成事業

(ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会と共催)

市場で必要とされるソフト系 IT 分野の担い手を養成。

- ・ Web アプリケーション開発講座

##### ② 高度製造技術人材育成事業

高度な技術や先端的な生産技術・品質管理技術などを有し製造現場でリーダーとなる人材の育成を、産学官の連携により行う。

- ・ 教育プログラムの開発 (主として大学を中心)
- ・ 座学講義や現場実習による実践的な研修 (一部インキュベーションセンター等を活用)

#### (2) 科学技術交流事業

##### ① IT 交流プラザ事業

IT 関連企業、SOHO など、IT に関心の高い企業・個人の研修会及び交流会。必要に応じて分科会を置く。(ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会との共催。)

##### ② 産学官交流会

- イ) 日本大学工学部との共催による交流会
- ロ) 郡山市等との共催による交流会
- ハ) 各種交流会

#### (3) 技術情報提供事業

##### ① テクノポリス技術サポートオフィス NU

日本大学工学部の知的財産を地域企業に還元するための相談、指導及び仲介。

### 2. 研究開発支援事業

#### (1) 研究開発審査委員会

##### ① 技術等審査委員会

研究開発助成申請に係る審査会の実施。

#### (2) 研究開発助成事業

研究開発活動を行う圏域内の企業・企業グループなどに事業資金の一部を助成する。

##### ① F/S (フィージビリティ・スタディ) 支援事業

研究開発にあたって事前に行う実現可能性調査、企業化調査に要する経費の3分の2以内、100万円を限度に助成する制度。

② 研究開発助成事業

テクノ圏域企業の研究開発案件に対して経費の3分の2以内、300万円以内を限度に助成する制度。

③ 研究開発委託事業

企業独自では研究開発が困難な高度な課題について、大学などに研究を委託する制度。

(3) 研究会支援事業

① 各種研究会

日本大学工学部、福島大学、奥羽大学及び福島県ハイテクプラザ等との連携による研究会の開催（研究開発案件の発掘）

- イ) 環境保全・共生科学技術研究会
- ロ) 医療・福祉機器等関連新事業創出研究会
- ハ) 機能性材料・製造プロセス研究会
- ニ) IT 関連分野、食品関連分野 等

② 個別検討会（プレスト）

各種研究会のフォローアップとして、自由意見交換、討議により、共同研究、開発につながる新事業探索をめざす。

(4) 研究開発コーディネート事業

① 製造業向け技術支援ネットワーク形成事業

地域技術者情報のデータベース化と、その活用による開発プロジェクトの創出促進を図る。

3. 普及啓蒙事業

(1) 普及啓蒙事業

① 広報活動

テクノポリス推進機構の事業について、機関誌を通じて広報を図る。

## 【地域技術起業化推進事業】

研究段階を終え起業化の可能性が高まった研究開発テーマについて起業化に向けた活動を支援・助成するとともにデザイン産業、情報産業など中核的産業を支える支援型ソフト産業の育成に資する事業を実施する。

1. 地域技術起業化支援事業

(1) 起業化支援事業

デザイン開発、販路開拓、需要調査などについて外部機関に委託する場合に、その経費の3分の2以内、150万円を限度に助成する。

**(2) 起業化研究会支援事業**

複数の企業が研究会をつくり起業化を行う場合運営費用の3分の2以内30万円を限度に助成する。

**(3) 技術等審査委員会の開催**

**2. 地域技術起業化助成事業**

複数の県内中小企業者などが研究開発テーマを起業化する場合に事業資金の3分の2以内、500万円を限度に助成する。

**3. ソフト産業（支援型産業）起業化支援事業**

中核的な産業を支えるサービス産業の振興を図ること目的として、ユニバーサルデザイン業並びにユニバーサルデザインを取り入れたものづくりプロジェクトを支援する。

**(1) ユニバーサルデザインフェアの開催**

地場産業の活性化へのデザインの果たす役割とものづくりにおけるデザインの重要性を広くPRし、デザイン業と他産業の一層の連携を促進する。

**(2) ニーズプル型ユニバーサルデザイン製品開発支援事業**

公募等により、消費者ニーズにあった開発テーマを選定し、ユニバーサルデザインを取り入れた製品開発プロジェクトの総合的支援を行う。

**(3) 産業見本市（ビジネスクリエーション東北）への出展**

新しい製品や技術・サービスを有する企業が、その情報発信・販路開拓・技術交流を行う場として開催される産業見本市への圏域企業の出展を促すための支援を行う。

**4. ふくしま発製造業新連携推進事業**

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議を核としたテクノポリス圏域製造業が連携し、市場優位性を確保するために、他地域の販社やメーカー企業との事業連携を構築し、優れたプロジェクトを創出する。

**(1) 戦略的アライアンス形成会議**

①戦略的アライアンス形成会議の開催

②研究開発部会の開催

③受発注部会の開催

**(2) 事業プロジェクトの創出**

① 研究開発事業プロジェクト

② 共同受託製造サービスプロジェクト